

人権推進課関係

1 人権対策

(1) 人権啓発

ア 「広報かぬま」による啓発

人権について正しく理解してもらうため人権啓発記事を、6月号、8月号、9月号、11月号、12月号、2月号に掲載した。8月には、人権啓発標語募集記事も掲載した。

イ 研修会等の開催・講師派遣

職員研修 新規採用職員 12名

中堅職員 37名

ウ 「人権のつどい2022」の開催

日時 12月10日(土)

会場 鹿沼市民情報センター5階 マルチメディアホール

内容 人権啓発標語入賞作品表彰式(応募総数1,713点、入賞作品数合計12点)

人権講演会(「学校では教えてくれない差別と人権の話」講師:戸田 眞)

エ 人権啓発推進市民運動強調月間(8月1日~8月31日)事業

(ア) 啓発リーフレット等を小中学校、市施設窓口、市内事業所に配布した。

(イ) 啓発標語を小・中学生、一般から募集した。(応募総数 1,713点)

(ウ) 「人権パネル展」を図書館本館、市役所行政棟2階で開催した。

オ 人権啓発推進市民運動強調週間(12月4日~12月10日)事業

(ア) 人権啓発推進市民会議実行委員7名が参加し、市民に啓発チラシ、啓発標語入りのエコバックを配布した。

日時 12月4日(日)

会場 まちの駅新鹿沼宿・ヨークベニマル上殿店・ヤオハン栗野店

(イ) 広報車2台により市内(主に旧市内及び街頭啓発場所)の巡回啓発を行った。

(ウ) 令和4年度に募集した啓発標語入賞作品を、市役所第2駐車場フェンスへ掲示した。

(2) 推進体制の確立

ア 人権啓発推進市民会議

人権啓発推進市民会議を2回、同実行委員会を3回開催

イ 人権施策推進審議会

人権尊重の社会づくりのための施策についての審議会を1回開催

ウ 人権推進本部及び人権推進会議

人権推進に係る施策等に関する会議(本部会議)を2回開催

人権推進に係る具体的施策等に関する会議(推進会議)を2回開催

エ 「第2次鹿沼市人権啓発推進総合計画実施プラン(令和4年度)」の策定

(3) 人権研修会及び部落解放研究集会等への参加

ア 第24回栃木県ヒューマンライツセミナーへの参加(人権擁護委員鹿沼部会委員)

(4) 民間団体の育成等

ア 同和問題の解決に向け効率的な事業推進を図るため、部落解放同盟鹿沼市協議会に807,000円の人権対策団体運営費補助金を交付した。

(5) パートナースhip&ファミリーシhip宣誓制度

ア 鹿沼市パートナースhip&ファミリーシhip宣誓制度

申請組数 4組(令和4年度末現在)

(6) 人権相談

ア 専門機関（宇都宮人権擁護委員協議会鹿沼部会）による、個別相談を行った。

相談名	相談員	相談日	時間	相談件数
人権なんでも相談	人権擁護委員	毎月第2木曜日	午前10時～午後3時	10件

※人権啓発推進市民運動強調週間（12月4日～12月10日）に特設人権相談所を開設した。

イ 人権相談の内容及び件数

相談内容	件数	割合
親子・夫婦	2件	20%
相 続	2件	20%
相 隣 関 係	2件	20%
訴 訟	0件	0%
金 銭 貸 借	0件	0%
そ の 他	4件	40%
計	10件	100%

2 男女共同参画推進事業

(1) 男女共同参画啓発事業

男女共同参画社会をめざす情報紙「かれんと」の発行

2回 61号（9月26日）、62号（2月24日）

(2) 男女共同参画セミナーの開催

会 場 市民情報センター

開催日	講師	内容・テーマ	参加者
9.28	(有)イー・デザイン 大杉 悦子氏	家族全員参加の「片付け術」講座	14名

(3) 男女共同参画社会づくり実行委員会委託事業

ア 「ときめき鹿沼2022」

開 催 日 9月25日（日）

会 場 市民情報センター

内 容 講演 ある幸せ、ない幸せ～自分で決める暮らし方～
講師 稲垣えみ子氏（元朝日新聞社記者）

参 加 者 56名

イ 「女性に対する暴力をなくす運動」の取組

(ア) 街頭啓発

実 施 日 11月19日（土）

場 所 カンセキ新鹿沼店、ヨークベニマル鹿沼千渡店

内 容 啓発チラシ及び啓発物資（ボールペン等）の配布

(イ) 庁内等での啓発

期 間 ① 11月12日～25日 ② 11月25日～12月23日
場 所 ① 図書館本館 ② 市役所2階ウッドインフィル前
内 容 パープルリボンツリー展示及び啓発チラシ・物資配布

(4) 女性相談業務
相談状況

月	新規相談					再相談	関係機 関連携	保護
	離婚 問題	DV	生活 相談	その他	計			
R4/4月	2	4	0	0	6	16	33	0
5月	1	3	0	0	4	14	50	0
6月	3	6	0	1	10	35	62	0
7月	2	2	0	0	4	31	38	0
8月	3	2	0	1	6	9	55	1
9月	2	5	0	0	7	45	59	0
10月	2	4	0	2	8	36	56	0
11月	1	6	0	3	10	22	24	0
12月	2	3	0	0	5	28	19	0
R5/1月	3	5	0	1	9	27	51	0
2月	3	3	0	1	7	23	33	0
3月	1	3	1	1	6	20	41	0
計	25	46	1	10	82	306	521	1

3 南部地区会館

(1) 南部地区会館運営委員会

月 日	会 場	内 容	出席者数
5.24	南部地区会館	・令和4年度事業計画について ・会議及び研修等活動（案）について	13名
9.29	桐生・足利	・南部地区会館運営委員会・隣保館合同視察研修	6名
3.23	南部地区会館	・令和4年度事業報告及び事業総括について ・令和5年度事業計画（案）について	12名

(2) 南部地区会館事業

事 業 名	延回数	延時間数	内 容	参加者数
女性の集い	9	18	女性の人権問題を中心に、一般教養、健康、趣味の学習を通し、あらゆる差別の解消を図る。	91名
生きがいの集い	9	18	高齢者の人権問題を中心に、一般教養、健康、趣味の学習を通し、あらゆる差別の解消を図る。	64名
子どもの集い	2	4	夏休み課題支援「貯金箱づくり」 書道教室	新型コロナで中止
人権学習総合講座	1	2	利用団体者を対象に人権について学習し、あらゆる差別の解消を図る。	新型コロナで中止
人権教育指導者専門講座	2	6	人権教育の指導者としての教職員の資質の向上を図り、学校、地域での活動を促進する。	28名
学力向上学級	12	27	栃木県若年者支援機構による学習支援	26名
町別人権学習会	1	0	同和問題をはじめとする人権問題を主体的に学習し、人権尊重に基づいたまちづくりを目指す。	新型コロナで中止
趣味の集い	1	2	早春のフラワーアレンジメント（生花）	6名
福祉と人権の集い (ウェルフェア in かぬま)	-	-	人権学習の取り組みの成果をまとめるとともに、地域住民の様々な交流を通し、人権啓発活動を行う。	新型コロナで中止
利用団体活動	121	242	文化サークル活動・自治会活動	376名
図書貸出業務	23	-	人権図書外貸出 119冊	51名

4 隣保館

(1) 相談業務

種 別	回 数	相 談 内 容
生活相談	12	生活指導等
健康相談	52	通院・病気等
職業相談	12	職業斡旋等
福祉相談	7	介護申請等
その他の相談	24	住宅入居等
友愛訪問	867	友愛活動等
計	974	

(2) 地域保健福祉事業

食生活改善と健康管理を目的にした健康教室を開催し、管理栄養士による調理実習と栄養指導を行った。

開催回数 3回

(3) 啓発及び広報活動事業

広報紙「隣保館だより」を月1回発行し、隣保館周辺10町内に配布した。

発行期間 6月～3月

発行回数 10回

(4) その他の事業

ア 隣保館運営審議会の開催

開催回数 2回

イ 会議室等の利用

対象団体等 地元自治会・部落解放同盟・各種サークル等

利用件数 63件

人数 537人

ウ 高齢者ふれあい事業

高齢者を対象に交流会及び給食サービスを実施し地域の福祉の向上を図った。

開催回数 13回

延べ参加人数 148人